

# はじめの一步～シュアスタート目黒

## ・・・子育てカフェを拠点に活動・・・

子育てカフェ・じいじの家 代表 齋藤義明

平成 21 年 4 月より、目黒区子育てカフェ事業の助成を受けて、民家開放型の子育てカフェをオープンしました。そして、同時に「はじめの一步」と名づけたシュアスタート目黒版の活動を開始しました。そこで、半年間の実践から見てきたことや、シュアスタート目黒の内容についてお話しします。

### 半年間で 500 組の親子、延べ約 3,000 組の来場

子育てカフェ・じいじの家は、目黒区の商店街に近い住宅地の民家の1階を開放しています。子どもを遊ばせながら親がゆっくりできる空間として、乳幼児が自由に這い這いしたり、座ったり、お昼寝も自由にできる和室 12 畳とママ・パパがくつろげる喫茶スペースを提供しています。さらに四季折々のガーデニングされた庭やウッドデッキも開放し、じいじのいる実家に帰った雰囲気

を味わっていただいています。子どもたちの遊び相手は、じいじのほか、子育て経験豊富なサポーターが見守ります。

4 月のオープン以来 500 組の親子が来場し、1 日 10 ～ 15 組の方たちがゆっくりと過ごされています。目黒区の中心部に位置することもあり、区内はもとより隣接の区外の方々も利用されています。ここの平均的利用者像は、30 代での第 1 子出産、出産前は働いており、出産前後に目黒区内のマンションに居住（地縁がない）という方々です。また、土日にはパパとお子さん、平日は保育所に預けて働いているママとお子さんなどもみえています。

延べ 3,000 組の親子を見ていると、育児や家庭にそれぞれ大なり小なり問題を抱えていることがうかがえます。母子家庭・児童虐待など問題視するレベルではないのですが、子育て不安、パパの育児支援の迷いや子育てに伴う夫婦関係の変化など、一見問題ない家庭・親子とみえる方々にも、大きな課題があると感じることができました。一方、この子育てカフェも地域で大きな役割を果たしつつあると思うこともあります。一例をあげれば、オープン以来 2 日に 1 回お見え

お庭と広いウッドデッキ



になる母子が、産後うつから脱していく状況が日々観察できました。

### シュアスタート目黒の立ち上げ

シュアスタートは、1999 年イギリスで始まった子ども・家庭支援策です。すべての子どもに最善の育ちを約束します。その為に早期教育・保育・保健・家族支援の 4 点を統合化して、それらをワンストップサービスで提供できる地域拠点で行なうものです。

子育てカフェの利用者の方々にも、このシュアスタートを提供したいと考えて、目黒らしい、じいじの家の特徴を生かしたシュアスタート目黒を立ち上げることにしました。

2 歳未満までのお子さんとママ・パパを対象に、じいじの実家というコンセプトを生かしたワンストップサービス拠点と子育てカフェを兼ねることにしました。また、目

黒の地域特性を活かし、それを支える地域に根ざしたサポート体制、そして専門スタッフ（社会福祉士・精神保健福祉士・カウンセラー・保育士・保健師・栄養士等）がバックアップする体制づくりを行いました。

### はじめの一步～シュアスタート目黒

シュアスタートをはじめの一步と名づけ、以下の 4 つの柱を立てました。

#### 1. 子育て・・・大きな家族

核家族・マンション生活のなかでの、日々の母子関係だけの生活から、庭や畳のある空間でののびのびした時間、例えばこの和室で這い這いできるようになった、歩くことができるようになった子どももいらっしゃいます。そして、他のママ・パパとのふれあいや子ども同士の交流による社会性・情緒性を育む場を、実家のような大家族の雰囲気の中で提供していきます。